

JAしまねびより 1

2018

January Vol.22

特集 島根のいいもの再発見!! 「松江市 キャベツ」 くにびき地区本部



Xaomichi

雪の松江城



J.Aしまね 雲南地区本部版

まんで新春の お慶びと 申上げます

代表理事組合長 竹下 正幸
代表理事副組合長 山根 盛治
代表理事専務 高木 賢一
代表監事 松浦 宗和
役職員一同

新年あけましておめでとうございま

す。

組合員のみなさまには、新しい年を穩
やかにお迎えのこととお慶び申し上げま
す。

おかげさまでJAしまねは統合後3回
目の新年を迎えることとなりました。

これもひとえに組合員のみなさまは
じめ、地域のみなさまのご理解とご協力
の賜物と心から感謝を申し上げます。
昨年を振り返りますと、「農業者の所
得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性
化」を最重点課題として、各事業や取り
組みにおける自己改革と統合メリットの

創出に取り組んでまいりました。

営農関係では農業振興支援事業、生産
資材の価格低減、米の買取制度をはじめ
販売対策強化、TAC（地域農業の担い
手に出向くJA担当者）による営農情報
提供や記帳代行、認定農業者支援資金な
どの担い手支援に取り組み、また、地域

の活性化としては、業績還元の実施と地
域活動への活用、地域貢献・地域活性化
に取り組まれた団体の表彰と活動資金支
援、女性部活動や子育て支援、地域イベ
ントなどを通じ、地域全体での活性化に
取り組んでまいりました。

計画を完遂するためには、JA事業・
組織にかかる自己改革の実践が不可欠で
あります。しかし、「組合員のみなさまのお役
に立てるのか」「組合員のみなさま
から求められているサービスを提供でき
ているのか」「組合員のための改革で自
分は何ができるのか」を役職員一人ひと

さて、本年は「第1次中期経営計画」

りが真剣に向き合い常に考え、広い視野と新しい発想、そして改革していく意識を持つことが重要であり、そうした取り組みを一つ一つ実践していくことが自己改革であると思います。

組合員や地域住民のみなさまのご期待に応え、JAの健全経営と更なる事業改革・組織改革をすすめていくため、担い手農家をはじめ組合員のみなさまとの話し合いをより活発なものにし、忌憚のないご意見を聴かせていただき、みなさまの声を事業や取り組みに活かし、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」につながる自己改革を一つでも多く実践し、JAは変わったなど言ってもらえるよう取り組んでまいります。

今後も、みなさまから選ばれ、信頼され、ご利用いただけるJAに向けて、役員が一体となり取り組みを行ってまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

組合員・地域のみなさまにとつて本年が幸多い一年でありますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成三十年一月
代表理事組合長 竹下 正幸

自己改革実践中

「自己改革の実現」を発行しました

J Aしまねでは、統合時より統合メリットの發揮に併せて自己改革の実現に取り組んでいますが、その実践状況についてみなさまにお知らせするため、取り組み状況をまとめた冊子「自己改革の実現」を昨年7月に発行致しました。

正組合員のみなさまのお宅を中心に配布させていただいていますが、支店窓口にも冊子を備え置きしていますので、是非ご覧いただけますようお願い致します。
(冊子の内容は当JAのホームページにも掲載しています)



す。組合員のみなさまからいただいた意見を事業運営につなげるよう、これまで以上に努力して参りますので、ぜひとも忌憚のないご意見をお願い致します。

自己改革に関する調査（アンケート）へご協力をお願ひします

J Aしまねでは、現在取り組んでいる自己改革の内容についてみなさまのご意見をお伺いしたく、3月に自己改革に関する調査（アンケート）を実施させていただきます。JAしまねでは、無作為で選ばせていただいた方に回答をお願いする予定です。対象となつた組合員のみなさまにおかれでは、ご多用のところ誠に恐縮ですが、ご協力いただきますようお願ひ致します。

J Aしまねでは、より一層、組合員のみなさまの期待に応え、魅力ある地域の農業やくらしを支えるJAとなれるよう、今後もアンケートの実施や集会等を通して、みなさまの声をお聴きする機会を増やして参ります。引き続きJAの事業、活動へのご理解、ご協力を何卒お願い致します。

※12月に郵送で実施させていただいた「組合員アンケート」とは別のアンケートです。本アンケートは、3月に職員の訪問により実施させていただく予定です。

島根には誇れる農産品がたっくさん！

島根のいの再発見!! 直撃・生産者インタビュー

東西に長く広がり、海も山もある
自然環境豊かな島根県。島根には、
胸を張って誇れる農産品が実は多種
にあるんです。
毎月、その農産品を紹介、生産者
の声を聞いていきます！



【松江市 キャベツ】

1月は、くにびき地区本部。松江市東出雲町で、新規就農し、キャベツを栽培する高松和範さん、JAしまね中海干拓事業所の小室陽二所長のお二人にお話を伺いました。



高松和範さん

高松さん 大学を卒業しNPO法人で働いている時、農業に接する機会がありました。

新規就農したきっかけを教えてください。



真剣な眼差しが、高松さんの熱い想いを物語っていました

広大な土地でたくさん野菜を生産するのに魅かれ、転職を決意。JAさんと松江市が行なっていた「だんだん営農塾」に参加し、東出雲町の中海干拓地で盛んに生産されている、通称「くにびきキャベツ」の栽培をはじめることになりました。地元の農業士の野津一修さん・松田純一さんに師事し、研修と並行して2年間、現場で経験を積みながら学びました。その後独立し、今年で4年目になります。7ヶ月頃に苗を定植して、収穫はおもに10月から翌年6月頃まで行っています。1年目



広大な農地で栽培されるくにびきキャベツはこれから最盛期を迎える

くにびきキャベツとはどのようなものですか？

小室さん 松江地区でのキャベツ栽培はほとんど、この中海干拓地の揖屋工区で栽培されています。全体の作付面積は約37ヘクタールで、2016年は秋の長雨等の影響もあり、例年より少ない730トン出荷しました。年間の目標出荷量は、多い時の実績と同じ、1,000トン以上を目標にしています。當初は栽培面積を拡大しても生育が不安定な時もありま

した。そのため、定植後の生育に応じて作型ごとの農薬散布を行う設定になっていた防除暦を、秋冬キャベツの全作物・全品種で一度に防除できるような「一斉防除方式」に改めました。適期に一番効果のある薬剤によって一斉防除するので、結果的に防除回数も減少。害虫防除を効果的に防ぐことができるようになります。また、高い安全性と

優れた品質を兼ね備えた產品を認定する「美味しまね認証」を生産者全員が取得。大阪を中心に出荷していますが、品質にこだわった結果、おかげさまで関西を中心に「島根キャベツ」ブランドとして高い評価をいただいている。



中海干拓事業所にある集荷場から市場へ

小室さん 地区管内全体の農地と同様に、當農者の高齢化等の要因もあり、作付休閑地が依然として見受けられます。松江・八束くにびきキャベツ部会の会員は現在46人。平均年齢はざっと65歳です。そこで松江市と共同で新規就農者を行っています。卒業生である高松さんのような新規就農者が増えて欲しいと、努力を続けているところです。

千拓地での営農開始から約30年が経過していますが、何か課題はありますか？

就農された感想と今後の抱負を聞かせてください。

高松さん 広大な畠で、専用包丁を使って1個1個、手作業でキャベツの根元を切り落とし収穫します。何千、何万个とあり、ひたすら同じ作業を続けなければなりません。



「雪が降ろうが！」という高松さんのような存在が心強い

松江市 キャベツ 一口メモ

中海干拓事業は昭和38年から行われ、旧八束郡東出雲町と松江市意宇町からなる揖屋工区は平成元年度に完了した。地区面積は323ヘクタールで、そのうち農地面積は202ヘクタール。栽培品目で規模が大きいものは、牧草約38ヘクタール、キャベツ約37ヘクタール、津田かぶ約9ヘクタールとなっている。このほか、作付け準備状態のほ場が約20ヘクタール、作付け休閑状態のほ場は約34ヘクタールあり、地区内農地の30パーセント弱で、担い手が不足している状態。高松さんのような新規就農者を増やす努力をJAしまねや行政が一丸となって続けている。年間を通じて美味しいキャベツ作りにこだわっており、適度に歯ごたえがあって、みずみずしさに優れた干拓地のキャベツが「島根キャベツ」として関西を中心に高い評価を得ている。

また、「くにびきキャベツ」は「美味しまね認証」を取得していることにより2020年オリンピックで使用することも可能な野菜である。



出荷のピークを迎え、規模拡大を念頭にした高松さんの毎日の戦いが続く



作業 자체は単調な仕事ですが、農業をするのが好きなんいろいろなので、困った時には相談できるのが、新規就農をするにあたって心強く感じました。研修時代に大変お世話をなった師匠の栽培規模は、はるかに大きい。当面は現状の面積を維持しながら、機会を見て規模を拡大し、いつの日か師匠に追いつければと思っています。

雲 南

ブランド米振興大会 生産者ら意欲高める

雲南市水田農業担い手協議会が主催する「平成29年度雲南市ブランド米振興大会」が12月6日、木次町のチェリヴァホールで開かれ、生産者や関係者ら約70人が参加。つや姫生産の研修や優良生産者の表彰を行いました。

平成29年度優良生産者表彰では、田中政明さん（大東町）と農事組合法人春石（大東町）が選ばれ、さらに田中さんは雲南市長杯を、農事組合法人春石は、JAしまね雲南地区本部長杯を受賞しました。

平成28年産米からブランド米として取り組みを始めた雲南市プレミアムつや姫「たらら焰米」は、一定の要件を満たしたワンランク上のつや姫として、市とJAが認定したお米。

作付面積や生産者も増えた中で2年目を迎える同協議会の渡部彰夫会長は「雲南市のブランド米が全国に広まるよう、皆様方と苦難を乗り越え取り組んでいきたい」と話しました。



左から速水市長、田中さん、渡部会長、農事組合法人春石、加藤本部長

隱 岐

来店感謝デーを実施

隱岐地区本部は12月15日、管内4か所の支店窓口で、日頃のご愛顧に対する感謝をこめて、「隱岐地区本部 来店感謝デー」を開催しました。イベントの開催にあたって、事前にチラシ配布を各支店窓口等で行い、当日には通常来店人数の2倍近くのたくさんの利用者の方にご来店いただきました。

ご来店いただいた方にはクジ引きをしていただき、「冬の風邪予防対策」をコンセプトとした「加湿器」「自動ハンドソープ機」など関連グッズのプレゼントをしました。来店者からは「いつも楽しみにしているよ」「来てよかったわ」など言っていただきました。



くにびき

くにびき女子大 玄丹そばでそば打ち

くにびきサンサン女子大は12月2日、教育文化センターSan・san館で、松江市特産の「玄丹そば」を使ったそば打ち体験講座を開催しました。32人の学生が参加し、玄丹そばのおいしさを体感しました。



当日は、地元のそば打ち名人・細田純夫さん（松江市玉湯町）を講師に招き、そば打ちに挑戦。細田さんから「水加減に注意してこねて」「円盤状に広げながらのばすように」などと実演つきのアドバイスを受けながら、真剣な表情でそばを打ちました。

講座終盤には、細田さんによる打ちたてのそばを全員で試食。「普段食べているそばより香りがよくておいしかった。自分で打ったそばを家で食べるのが楽しみ」などと感想を話しました。



そばをこねる学生

やすぎ

やすぎのエコ白ネギをアピール

やすぎ白ネギ部会は12月2日、雲南市のみしまや三刀屋店で安来のエコ白ネギの販売イベントを行いました。エコ白ネギは、通常の栽培に比べて化学肥料を県基準の半分にして栽培しており、環境に優しいのが特徴で、今回のイベントでは100束を販売しました。

また美味しいエコ白ネギを実際に味わってもらおうと、エコ白ネギを50本使用した白ネギ豚汁を無料配布し美味しさをアピールしました。試食した方は「ネギが甘くてすごく美味しい!買って帰るわ!」と好評でした。同部会の山本進部会長は「今後もイベントなどを通じて、安来のエコ白ネギをアピールしていきたい」と意気込みを語りました。



新鮮なエコ白ネギ



販売、試食の様子

斐川

あぐり探検隊 餅つき・そば打ちを体験

斐川地区本部は12月10日、斐川営農総合センターで、農業体験活動「第5回あぐり探検隊」を開きました。今回の活動では、餅つきとそば打ち体験を行いました。

餅つきでは、隊員が田植え、稻刈りを自ら行ったもち米を使用。事務局とJA斐川女性部の指導により、臼と杵を使って餅つきを行い、隊員たちは楽しそうに力強く杵を振り下ろしていました。

そば打ちでは、荘原地区の高橋義孝さんと糸賀充さんの指導の下、斐川産のそば粉を使用し、隊員たちは真剣にそば打ちを体験しました。

JJAでは次年度以降もあぐり探検隊などの活動を通して子どもたちに食と農について学ぶ機会を提供していきます。



石見銀山

オリジナルカレンダー完成

石見銀山地区本部は12月20日、オリジナルカレンダーを発行し、JA職員が「ふれあいの日」に、管内組合員宅へ配布しました。同地区本部オリジナルカレンダーは、毎年発行しています。

2018年版は、大田市仁摩町の「琴ヶ浜」がテーマ。今年の10月13日に、国の天然記念物に指定告示されたことを記念して制作しました。琴ヶ浜海岸の他、江戸時代から現在まで受け継がれている同町宅野地区の「宅野子ども神楽」や世界最大の砂時計「砂曆」が設置されている「仁摩サンミュージアム」、左官職人が民家や土蔵の壁に漆喰を使って施した造形物「鎧絵」など同町の伝統文化や名所の写真が各月を飾ります。

地元写真家や市、県の観光協会などの協力を得ながら完成しました。



琴ヶ浜が表紙を飾るJAオリジナルカレンダー

隱岐
どうぜん

隱岐島前農政会議が発足

隱岐島前農政会議は11月20日、海士町マリンポートホテルで設立総会を開きました。隱岐どうぜん地区本部が中心となり設立に向けて準備を進め、同日発足しました。

発足式の冒頭で新谷徳昭本部長が設立趣意書を読み上げ、農業者の自主自立な組織として、JAグループと連携して農業・農村の振興を図り、一致団結して相互研鑽と情報の共有など、県内および全国の仲間とともに農政運動を開いていくことを確認しました。

当日は島根県農政会議の石倉茂美会長を来賓に招き、祝辞をいただきました。石倉会長は、当地区本部での発足により島根県全域で農政会議が組織されたことを喜ぶとともに、その意義について話しました。

総会では同会議の規約の他、活動計画や収支予算案などが承認され、会長に西ノ島町の口村光房さん、副会長に知夫村の向濱樽幸さんが選任されました。また、委員2人、監事2人が初代役員として選出されました。



選出された初代役員（左から、口村会長、南敬二監事、板谷栄一委員、村上良夫監事、美濃芳樹委員）

出雲

JJAしまね出雲しいたけ部会 年末講習会開催

JJAしまね出雲しいたけ部会は12月5日、島根ワイナリーで年末講習会を開催しました。部会員、行政関係者、JA役員ら約53人が出席。市場情勢や今年の出荷状況を確認したほか、年末に需要のピークを迎えるにあたって、株式会社北研から講師を招き、水管理や温度管理など栽培方法について講習を受けました。

同部会の栽培する菌床生しいたけ「神々の国 出雲しいたけ」は肉厚で市場からの人気も高く、当日出席した各市場関係者は「年末の需要期にたくさん出荷してもらいたい」と要請しました。

同部会では、島根県独自のGAP制度「美味しまね認証」の取得に部員一丸となって取り組んでおり、11月には島根県・JAの担当者らが部会員65戸を巡回し現場改善を行うなど、同認証の団体取得に向け大詰めを迎えています。同部会の三島茂部会長は「競争も激しい中、認証取得で安全・安心をPRできることは大きな強みになります。一人も乗り遅れることなく、『美味しまね認証』の列車に乗ってもらいたい」と呼びかけました。



認証取得に向け気運を高める三島部会長

西いわみ

農業青年クラブが「わんぱくらんど」収穫祭を開催

津和野町農業青年クラブ（会長石橋康邦）は12月8日、同町後田の津和野町民センターで「わんぱくらんど」の収穫祭を開きました。

田植えや稻刈りなどの農作業を通して、農業に親しんでもらい食べ物の大切さを学んでもらおうと平成9年から始めた「わんぱくらんど」は今年が21回目となります。

当日は、同町田二穂地区の水田で園児らが春に植え、秋に刈り取ったもち米「ヤシロモチ」を使い餅つきをして収穫を祝いました。



本店

第19回島根県家の光大会を開催

JAしまねとJAしまね女性部は12月6日、出雲市のラピタウェディングパレスで第19回県家の光大会ならびにJAしまね女性部研修会を開き、家の光愛読者や女性部員など約170人が参加しました。

くにびき、雲南、出雲の各地区本部の愛読者による記事活用体験発表では、「輝く～私たちのえんまん座～」と題して、『家の光』への掲載をきっかけにメンバー拡大などに取組んだことを発表した出雲地区本部の飯國恵美子さんが最優秀賞に選ばれました。飯國さんは来年2月に横浜で開催される全国家の光大会に県代表として出場します。

また、研修会では、NPO法人コミュニティスクール・まちデザインの近藤恵津子理事長が「食の安心・安全について～食品添加物と表示について～」と題して講演しました。



表彰状を受ける飯國さん（右）と、
表彰状を読み上げるJAしまね山根盛治副組合長

島根おおち

ドライブレコーダーで安心・安全に貢献

島根おおち地区本部は12月13日、管内の安心・安全に寄与することを目的として、公用車に設置したドライブレコーダー等の記録データを提供するための協定を川本警察署と締結しました。

協定締結式は川本警察署で行われ、生活安全刑事課の足立大樹課長が協定内容の説明をした後、同署の坂根英明署長と同地区本部の日高光弘本部長が協定書へ署名調印しました。

同地区本部では、社会貢献や役職員の交通安全に対する意識の向上を目的として、公用車にドライブレコーダーを設置しました。公用車は約120台あり、12月から順次設置して今年度は50台に設置しました。残りの公用車については、来年度以降に計画的に設置していく予定です。

今後、ドライブレコーダー等の記録データを捜査情報等として提供することで交通事故の抑止、事件事故の捜査活動、災害に対する危機管理等に活用し、管内地域住民の生活の安全、安心に寄与することを目指していきます。



いわみ中央

消費者交流会 冬野菜を使ってキムチ作りを学ぶ

いわみ中央地区本部は浜田市黒川町のふれあいホールで12月5日、浜田市と共に産直交流会を開き、市内から29人が参加しました。

講師に浜田市弥栄町在住の朴銀璟さんをお招きし、旬の野菜である地元産の白菜、大根を使った白菜キムチ、大根キムチ作りの実演を交えた講義を行いました。実演では、白菜の塩漬の行程や大根を均等に切る方法など、事前準備の大さなどの説明を受けました。

参加者は、「説明がとても丁寧で分かり易くて良かった。次回もこのような講習会が開催されれば是非参加したい」と話しました。



白菜キムチ



大根キムチ

平成29年度 西部地区子牛共進会を開催



10月27日に西部家畜市場で開催し、西部地域（いわみ中央地区本部・西いわみ地区本部管内）から選抜された肉用雌子牛16頭の出品がありました。

当日は秋晴れの中、審査員の厳密な審査により、最優秀賞には、益田市「田原 正太」さん出品牛「はな2号」が選ばされました。

審査風景



個体審査

比較審査

●西部地区子牛共進会授賞目録

区分	番号	住所	氏名	区分	番号	住所	氏名
最優秀賞	9	益田市	田原 正太	首 席	1	益田市	伊藤 宣男
優秀賞	15	益田市	佐々木恵美	優良賞	4	津和野町	石川 公芳
	13	益田市	田原 武吉		6	浜田市	長田 長正
	3	浜田市	佐々木祥二		7	益田市	河野 将樹
	16	津和野町	京村 真光		8	益田市	南中島ファーム
	11	浜田市	藤本 邦弘		12	益田市	橋本 政喜
	10	浜田市	佐々木祥二		14	津和野町	京村 真光
	2	浜田市	樋口 誠二				
	5	益田市	澤江 寛美				

平成29年度 島根中央子牛共進会を開催



11月10日に島根中央家畜市場で開催し、東部地域（くにびき地区本部・やすぎ地区本部・雲南地区本部・斐川地区本部・出雲地区本部管内）から選抜された肉用雌子牛40頭の出品がありました。

今年度は、秋晴れの下、皆様のご協力もあり全課程を野外審査場で行うことができました。

成績につきましては、各区の優秀賞首席に1区 奥出雲町「佐藤 治巳」さん出品牛「かつざくら号」、2区 安来市「田辺 和正」さん出品牛「ふくめぐみ号」が授賞され、グランプリチャンピオンには、2区、安来市「田辺 和正」さん出品牛「ふくめぐみ号」が選ばされました。

各受賞結果は右記のとおりです。

審査風景



●島根中央子牛共進会授賞目録

	第 1 区			第 2 区		
	出品No	住所	氏名	出品No	住所	氏名
島根県農業協同組合長賞	(各区:首席)	16	奥出雲町	佐藤 治巳	31	安来市 田辺 和正
	(各区:次席)	19	安来市	細田 好二	26	奥出雲町 新宮 茂
	(各区:3席)	20	飯南町	後長 信弘	32	雲南市 渡部 学
	(各区:4席)	6	奥出雲町	勝田 律江	34	奥出雲町 松浦 雅子
	(各区:5席)	17	出雲市	杉山 利夫	38	雲南市 高島 幹雄
島根県知事賞	グランプリ チャンピオン				31	安来市 田辺 和正
島根県家畜商組合理事長賞	グランプリ チャンピオン				31	安来市 田辺 和正
島根県家畜人工授精師協会長賞	グランプリ チャンピオン				31	安来市 田辺 和正
全国和牛登録協会 島根県支部長賞	(各区:首席)	16	奥出雲町	佐藤 治巳	31	安来市 田辺 和正
島根県畜産振興協会長賞	(各区:首席)	16	奥出雲町	佐藤 治巳	31	安来市 田辺 和正
J A西日本くみあい 飼料株式会社社長賞	(各区:首席)	16	奥出雲町	佐藤 治巳	31	安来市 田辺 和正
島根県農業共済 組合連合会長賞	(各区:次席)	19	安来市	細田 好二	26	奥出雲町 新宮 茂
島根県獣医師会長賞	(各区:3席)	20	飯南町	後長 信弘	32	雲南市 渡部 学

両替手数料改定のお知らせ

いつもJAしまねをご利用いただき、誠にありがとうございます。

**平成30年4月2日㈪から、
両替手数料を改定させていた
だきます。**

今後とも、当JAでは、組合員・地
域利用者の皆さんにご満足
いただき信頼される地域金
融機関として、サービスの
充実を図ってまいりますの
で、何卒ご理解賜りますよ
うお願い申し上げます。



◎両替手数料（改定後）

お取扱枚数	窓口手数料（消費税込）
1~49枚	無 料
50~500枚	324円
501~1,000枚	648円
1,001~1,500枚	972円
以降500枚ごと	324円加算

◆有料となる両替には、新札への両替、現金のお引き出しの際に、新札および金種をご指定される場合を含みます。

◆お取扱枚数は、ご持参（両替前）の枚数、お持ち帰り（両替後）の枚数のいずれか多い枚数が基準となります。

◆大量の硬貨により貯金をご入金される場合には、両替手数料をいただきます。

◆両替・金種指定払出・大量硬貨入金のうち、複数種類の取引をされる場合は、いずれか枚数の多い取引で手数料をいただきます。

◆同種類の取引を複数される場合は、合計枚数の手数料をいただきます。

◆汚損現金・記念硬貨の交換は無料です。

新年のごあいさつ

J Aしまね雲南地区本部
常務理事本部長

加藤 博樹



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

組合員の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい初春をお迎えのことと存じます。

国内の農業情勢は三十年問題、いわゆる国による、米生産数量目標の配分廃止と直接支払交付金の廃止、TPPやEUとのEPA交渉の方、さらに政府の規制改革推進会議の農協改革の行方、廃止された種子法の影響、卸売市場法の行方等、日本農業の岐路となる諸問題が山積し

ている中、JAしまね雲南地区本部は、JAの使命である

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向けて、本年も総力を

上げて取り組んでいかなければなりません。

雲南地区本部管内の状況は人口減少と高齢化により農業者も減少しており、新しい風を起こしていかなければ地域の将来はありません。

本年が皆様にとりまして、良き年となりますようご祈念申し上げ、新春のご挨拶と

これを好機と捉え、田舎の良さをアピールし、「夢の持てる農業・地域」の実現に向けて取り組みが必要です。

今こそ、協同組合理念に基づき、総合農協機能を發揮し、地域と共に雲南地域の農業振興、地域の維持・発展に邁進していくので、皆様のご支援、ご協力をお願い申しあげます。

J Aしまね雲南地区本部 事業状況報告について

雲南地区本部は、12月6日に「第3回運営委員会」、7日に「総代代表者会」、17日に「第2回総代説明会」を開きました。各会において、運営委員、代表総代、総代が出席される中、平成29年度上期事業報告ならびに上期決算、下記事業計画について報告しました。主な質疑応答は次の通りです。



Q J Aしまねになり、各J Aが統合され人事管理が一本化されたことが最大のメリットと考えている。総務企画部門のスリム化や地区本部間の人事交流が出来ないか。

A 統合時は地区本部ごとの賃金体系や人事制度であったが、順次統一する予定になつており、経営環境が厳しくなる中、要員の抑制による人件費の削減を行わな

Q 収入保険制度が始まり農家は青色申告を行う必要がある。

A 現在、人事交流については、例えればならないと考えている。また、人事交流については、例えば営農指導、園芸の得意な地区本部の営農指導員が他の地区本部を指導するような取り組みを具体化するよう検討している。

Q 収入保険制度が始まり農家は青色申告を行う必要がある。J A職員が一機器のインストラクターをするよう要望する。

A 青色申告について、昨年4月、本店に「扱い手対策課」を設置し、経営指導を含めてコンサルタントも入れている。引き続き本店の扱い手対策部門T A Cを中心に対応し、色々な形で指導させていただきたい。

Q J Aは組合員、地域一体となって総合事業を行っているが、不祥事により自分達が生産した商品の信用がなくなってしまった



Q 耕畜連携が言われるが、和牛飼育には人が一番である。畜産事業での人事交流は出来ないのか。

A 現在、県と一緒になつて地区別に全共の総括を行つて、年内に全地区を巡回し、例年より早いタイミングで全共対策本部を立ち上げ、次回、鹿児島全共では結果が出せるよう生産組合とも一体となつた取り組みをしたい。人事交流については、広域的な指導を行うことも必要と考えている。

Q 組織体制については内部協議を行つて、販売に関しては昨年の理事会において、どう売るかではなく、事前の契約を強化し売れる物をどう作っていくかという流れにしていく方向性を出

A 新聞折り込みの経費について課がない。米穀課を作つて生産から販売まで目に見える形で一體となつてやってほしい。

Q 外務活動について、資料をポストに入れているだけではないか。田畠にいればそこへ行つて会話をするべきだと思う。

A 本来は訪問先の方とお話をすることとなつておらず、外務活動に対する評価いただいている部分もある。J Aしまねとしてもふれあい活動にしなくてはならないと認識しており、現在、外勤在り方について検討している。

員教育により職員のレベルを上げ、不祥事等を一掃して、全ての事業においてより良い体制作りをしてほしい。

員の強化育成を徹底して行い、中堅職員には管理職登用試験を設けている。営農関係では販売額が1割程度減つてきており、そうした面でも指導レベルを上げていかなくてはならない。職員の育成について一緒に協力してほしい。

Q 地区本部名やJ A名が入った新聞折り込みのチラシが11月中旬から5回あった。毎月J A職員が配る広報誌に併せて配布する方が良いのではないか。

A 新聞折り込みの経費については農薬メーカーが負担しているが価格に盛り込まれていてことと思うので検討していきたい。

Q 地区本部名やJ A名が入った新聞折り込みのチラシが11月中旬から5回あった。毎月J A職員が配る広報誌に併せて配布する方が良いのではないか。

員教育により職員のレベルを上げ、不祥事等を一掃して、全ての事業においてより良い体制作りをしてほしい。

員の強化育成を徹底して行い、中堅職員には管理職登用試験を設けている。営農関係では販売額が1割程度減つてきており、そうした面でも指導レベルを上げていかなくてはならない。職員の育成について一緒に協力してほしい。



ふれあい ニュース

雲南管内の
旬な情報をお届け!

UNNAN
FUREAI
NEWS

01 雲南サンタ40年 全国巡りプレゼント



▲施設利用者の代表にケーキを手渡す村松さん(左)

雲南省木次町で飲食店を経営している村松憲さん(70)は、クリスマスの時期になると毎年、サンタクロースにふんして地元の保育所や幼稚園、福祉施設、県内外の被災地などにケーキを贈るボランティア活動を行っています。今年で40年目を迎え、配った数は8万個を超えました。

利用者に38個のショートケーキを贈りました。「足早いサンタの登場に、利用者らは声を彈ませて歓迎し、握手をしたり写真を撮るなどして楽しみました。

合支部は12月15日、支店が開催する来店感謝デーに併せて、職員に昼食を振る舞いました。日頃から女性部活動に加わる職員に感謝の気持ちを伝えようと、高橋美佐子女性部長が発案。女性部員と支店職員らは食卓を囲み、互いに交流を深めました。

大東支店では女性部員6人

02 溫かみ届けたい 女性部が手料理振る舞う

雲南地区本部が開校するJA女性大学院雲南校「華凜」は12月8日、雲南加茂健康保健福祉センターかもてらすで、華やかで目を引く、おもてなし洋風プレートおせちを学びました。若者のおせち離れなどの現状を受け、日本の伝統文化へ改めて目を向けてもらおうと企画しました。

きっかけは昭和39年7月、山陰北陸豪雨によって自宅が全壊した際に、全国から支援を受け励まされたことに恩返しをしようと、昭和52年から地元の保育所や幼稚園にケーキを配り始めたことでした。12月20日には雲南地区本部のすずらん福祉センターで、サービスセンターを訪れ、施設

が地元野菜をふんだんに使ったカレー・やサラダ、漬け物などを用意し「午後からも頑張ってください」と声をかけ、職員をねぎらいました。

同支店の糸原支店長は「部員と職員の繋がりがさらに深まり良かった」と話し、高橋女性部長は「初めての試みだったが好評で良かった。来年も取り組みたい」と笑顔で話しました。

03 伝統文化に关心向けて 洋風プレートおせちを学ぶ



▲プロ顔負けのプレートが完成しました



▲食卓を囲んで家族のように団らんする女性部員と支店職員ら

百合さんを講師に招き、柚子風

当日は料理研究家の土井小

12月20日には雲南地区本部

のすずらん福祉センターで、サービスセンターを訪れ、施設

を配り始めたことでした。

JA女性大学院雲南校「華凜」は12月8日、雲南加茂健康保健福祉センターかもてらすで、華やかで目を引く、おもてなし洋風プレートおせちを学びました。若者のおせち離れなどの現状を受け、日本の伝統文化へ改めて目を向けてもらおうと企画しました。

参加者は「忘れていたおせち料理の大切さに気づくことができた」「食を通して日本の文化を家庭で守っていきたい」と笑顔で話しました。

アツアツの豚汁味わつて 毎年恒例の感謝祭

雲南省大東町のAコープだいとう店内にある産直市場「大東モリモリ奥出雲」の出荷者会は12月7日、毎年恒例の感謝祭を行いました。会員は朝早くから準備に取りかかり、地元野菜をふんだんに使った豚汁を振る舞い、感謝の気持ちを伝えました。無料配布は9時から始め、昼過ぎには用意していた350食分の豚汁を全て提供しました。

年の瀬に入り寒さが厳しくなる中、来店者は用意されたブースで心身ともに温まりました。また、Aコープで買い物をした先着300名には、感謝の言葉を添えた紅白餅をプレゼントしました。同会の足立和夫会長は「10年以上続くこの活動を、心待ちにしている方もいるので、出来る限り続けていきたい」と話しました。

あぐりキッズスクール 日本の伝統文化を体験

雲南地区本部が開校するあぐりキッズスクールは12月16日、修了式と今期最後の授業でしめ縄作りと餅つきを行いました。しめ縄作りでは飯南町大しめなわ創作館から講師を招き、出雲地方伝統の「だいこく締め」を体験。好みの短冊を取り付け自分でのしめ縄を完成させました。

J-A職員がつき方を説明しきっせんらも挑戦。自分の背丈ほどの大きさの短冊を取り付け自分でのしめ縄を完成させました。



▲懸命に餅をつくキッズ生



▲お盆で一杯ずつ丁寧に配りもてなしました

J Aしまね総合ポイントカード おさいふカード

「おさいふカード」は、JAしまねの事業の利用、活動に参加された組合員・利用者の方へ、利用・参加状況に応じてポイントが貯まるカードです。また、JAしまねの関連会社(Aコープ等)の利用に応じても

ポイントが貯まります。貯まったポイントは、JAで使えるお買物券・JA特産品等に交換することもできます。また、ラピタではお買物代金として支払ができるカードです。

① JAを利用する

組合員・利用者



↓ JAを利用する

この「ステッカー」、「のぼり」が目印です



② ポイントが貯まる

総合ポイントカード



↑ ポイントが貯まる



③ ポイントを使う



お買物券

ラピタで!



特産品カタログ お買物の代金支払い

●お問い合わせは…最寄のJA支店まで（企画総務部総務課 ☎0854-42-9000）



特産の駅 おくいち



1. 店舗と「藤屋のたい焼き」が併設しています
2. 県外からも商品を取り寄せ、農閑期でも品薄にならないように配慮しています
3. 手書きのPOPには豆知識やイラストなどが描かれています、温かみがあります
4. 蜂蜜は売れ筋商品のひとつで、種類や大きさが豊富です
5. 地元産のトマトが手ごろに手に入ると評判の奥出雲高原トマト。不採いなモノもありますが、栄養満点。

相乗効果で、満足度UP 心を擰む人気直売所

創業15周年を迎えた協同組合横田ショッピングセンター「横田蔵市」がリニューアルオープンしたことに併せ、お店の前に地元産の野菜や加工品を販売する産直野菜市場を新設しました。横田蔵市での買い物と併せて地元産品を買い物できると人気が高く、合同で定期的なイベントを開催することもあります。両店が連携し、より多くのお客様の心を擰むことで地域に愛されるお店となっています。



特産の駅 おくいち

TEL 0854-52-1002
④仁多郡奥出雲町下横田84
⑤9:00~18:00
⑥第2水曜日

Tokusannoeki Okuichi



産直市の店長(左)も
加納さんの餅の大ファンです。

各直売所に出品されている生産者の方に
スポットを当ててご紹介します!

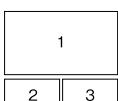
農アグリ

農ライフ

No-Agri No-Life <第10回>

仁多郡奥出雲町

加納 誠治さん(62)
かのう せいじ



1. 平餅やかき餅、おこわや赤飯まで幅広く取り扱っています。個別の対応も行っており、真空パックの餅などは郵送もしています
2. もち米玄米を使ったかき餅。香ばしい風味が癖になり、栄養価が豊富なのも魅力です
3. おはぎは餡ときな粉の2種類。程良い甘さとつき加減で、食べやすい一品です

県内外で実演販売 自慢の餅で地域をアピール

自家製のもち米を主に使っており、栽培、加工、販売まで一連の作業の大変さが分かるからこそ、餅作りの自信に繋がっています。ポイントは「しっかりと蒸して、しっかりつく」とこと。妥協しないことで、きめが細かくのど越しが良い餅に仕上がります。

シーズンになると毎日売り場の確認を行い、不足分は随時配達しています。お客様から「おいしかったよ」「この餅が良いんだわ」と声がかかることもあります。お客様から「おいしかったよ」「この餅が良いんだわ」と声がかかることがあります。力につながるそうです。加納さんは「背伸びをせずに、少しずつ横田や奥出雲をアピールしていく」と話してくれました。

加納さんは6年前に早期退職し、実家の加工場を継いだ「横田杵つき餅」の2代目。横田米のアピールも兼ねて斐川や松江、鳥取にも足を運び実演販売を行っています。



J Aしまね雲南女性部の活動を中心に、＼女子力／あふれる楽しい話題をお届けします。

J A女性部は、昭和28年に、農村女性特有の課題を解決するために設立されたものです。J A女性部の活動に賛同される方は、どなたでも（農業を営んでいなくても）加入できます!!あなたも地域の仲間と一緒に活動してみませんか。

女性部 掲示板

「第24回 JAしまね雲南女性のつどい 並びに家の光大会」特集

と き/12月2日(土) ところ/加茂文化ホールラメール



J Aしまね雲南女性部と、地区本部は12月2日「第24回JAしまね雲南女性のつどい並びに家の光大会」を加茂文化ホールラメールで開き、女性部員や家の光愛読者約500人が参加しました。大会の様子を写真で振り返ります。

- ①三刀屋支部「リフォームの会」坂本良子さんによる家の光記事活用発表。
- ②吉田支部の皆さんによる手作りの「大型紙芝居」を披露しました。
- ③あぐりキッズスクール生が、一年の活動を元気に発表!
- ④フレッシュユミズダンスチームが「ベリーダンス」を華麗に披露!アンコールもかかりました。
- ⑤JA役職員が、JA全農の「米ダンス」に挑戦!大いに盛り上りました!!
- ⑥みどりをまもる小学生作文コンクールで金賞を受賞した三刀屋小学校2年星野浩寿さんが受賞作文を朗読しました。
- ⑦JA女子大プレディの皆さんによる作詞した「プレディソング」をダンスに合わせ披露しました。
- ⑧おまちかね、演歌歌手出雲光一さんが、熱唱!一同その美声に酔いしれました。
- ⑨閉会後、出雲光一さんのもとにはサインを求める参加者が!!興奮覚めやらぬ大会となりました。

J A女子大掲示板 12月の女子大日誌

【冬休み親子企画】

マイトリーと創る 静かなクリスマスの音世界

と き/12月23日(土) ところ/雲南地区本部 会議室

◎講 師/マイトリー(持田陽平さん・森田さやかさん)

前半は、ウクレレと歌の講座を受講。体をほぐしながらいい声を出すレッスンを受け、アメージンググレイスとジングルベルを歌い、ウクレレで演奏もしました。後半はマイトリーのミニライブ♪子どもたちと一緒に心と体全体で音を楽しむ講座でした。

J A女子大学雲南校とは? | 多分野にわたる講座を受講することで、やりたいことを見つけ、新しい仲間を作っていく場所です。



●アンケートより

ウクレレの音色&持田さんの笑顔!癒されました!!森田さんのスマイル、お人柄にもとても癒され、周りのお母さんたちにも教えてあげたいです。ぜひまた受けたい講座でした!!

(学籍番号 U7-020:松島由紀子)



年金についてのご相談はJAで!/

年金相談会のご案内

無料

●赤来支店

2月 6日(火)10:00~15:00

●仁多支店

2月 7日(水)10:00~15:00

●頓原支店

2月 8日(木)10:00~15:00

●加茂支店

2月21日(水)10:00~15:00

◎お一人おひとりの相談会です。できるだけご予約下さい。
◎お問い合わせは、各支店窓口までお気軽にどうぞ。

平成29年産 追加確定金単価について

品種・銘柄	等級	単価	備考
コシヒカリ	1~3等	200	JA米
きぬむすめ	1~4等	200	JA米
特栽つや姫	1~5等	200	JA米
ハナエチゼン	1~6等	200	JA米
ヒノヒカリ・ にこまる	1~7等	200	JA米
もち米	1~8等	30	団地以外・ その他もち もち米団地・ 契約もち
もち米	1~9等	100	
五百万石	特上~3等	150	
神の舞	特上~3等	80	
佐香錦	特上~3等	150	
改良雄町	特上~3等	100	
改良八反流	特上~3等	30	
山田錦	特上~3等	200	

※うるち米において一般米は一律50円とする。

ローン金利

商品	金利
住宅ローン(保証料込・当初15年固定)	0.85%
1月10日現在 ※JAではお子様の人数に応じて金利引下げを実施しております。 その他、条件を満たした方はギフトカードが貰えるキャンペーンがあります。	

商品	初回の金利
マイカーローン 固定型	1.45%
変動型	1.40%
カードローン 变動型	7.10%
住宅ローン利用者向けカードローン	変動型 4.50%

1月4日現在
※上記の金利は、他の引下げ項目も含め最大引下時の金利です。
その他、様々な内容があります。詳しくはお近くのJA窓口まで。

平成29年産米 上位等級比率ならびに集荷数量

12月29日現在

【上位等級比率】

種類	仁多	横田	大東	加茂	木次	三刀屋
コシヒカリ	95.4%	96.4%	27.2%	10.1%	25.8%	36.3%
きぬむすめ	79.6%	100.0%	90.2%	81.7%	76.1%	89.9%
つや姫			57.0%	18.7%	74.3%	56.5%
うるち米	95.2%	96.4%	52.6%	27.6%	42.7%	49.6%
酒米	66.0%	79.3%	42.4%			30.0%
もち米	84.0%	70.5%	37.1%	35.6%	0.0%	0.0%
産米全体	89.3%	93.8%	51.1%	27.6%	42.0%	48.4%
種類	吉田	掛合	頓原	赤来	合計	
コシヒカリ	85.7%	69.8%	99.0%	99.1%	78.6%	
きぬむすめ	92.4%	96.4%	100.0%	97.3%	87.9%	
つや姫	87.2%	100.0%	100.0%	100.0%	51.2%	
うるち米	86.7%	75.0%	99.1%	99.0%	78.4%	
酒米	43.3%	44.9%	100.0%	97.4%	68.5%	
もち米	34.4%	40.9%	96.1%	94.7%	79.7%	
産米全体	78.5%	69.4%	98.8%	98.0%	77.7%	

【集荷数量】

単位:30kg/袋

種類	仁多	横田	大東	加茂	木次	三刀屋
うるち米	37,954	54,670	41,691	17,346	8,558	11,653
酒米	6,662	1,866	4,721			600
もち米	5,142	4,840	982	118	146	51
合計	43,096	59,510	42,673	17,464	8,704	11,704
種類	吉田	掛合	頓原	赤来	合計	
うるち米	6,573	9,211	22,506	30,286	240,448	
酒米	418	1,021	1,476	4,560	21,324	
もち米	814	712	2,919	6,714	22,438	
合計	7,387	9,923	25,425	37,000	262,886	

※うるち米には酒米の数量が含まれております。※持ち分確定によりカントリーエレベーターの数量を反映しております。

平成27年産米 最終精算について

平成27年産米の最終精算単価が決まりましたのでお知らせします。

単位:円(税込)/30kg

集荷区分	種類	区分	等級	精算単価
一般集荷分	うるち米	J A米・一般米	1~3等	1,136.26
	もち米	一般米	1~3等	1,136.26
	酒米	一般米	特等~3等	1,245.06
仁多郡カントリー	うるち米	一般米	1等	1,104.10
雲南市カントリー	うるち米	J A米	1~2等	1,239.85
飯南カントリー	うるち米	J A米	1等	1,445.47

※種類毎に区分された単価となります。電算で端数を四捨五入処理をしております。

※各カントリーエレベーターの精算単価は余剰米を含めた精算単価です。

生産者の皆様へ

平成27年島根米の最終精算を行い、生産者の皆様には平成29年12月25日に振込いたしました。これまでの共同計算での最終精算による端額については、翌年共同計算に繰越をしてきましたが、JAしまねは28年産島根米から「買取」手法による集荷・販売に移行しました。よって27年産島根米の最終精算における端額16,237円については、繰り越すことが出来ないため産米協議会である雲南稻作推進協議会に充当させて頂きますのでご理解願います。

1月の外勤日 17水 18木 19金

※支店によっては変更する場合があります。
詳しくはお近くのJA窓口までお問合せ下さい。

平成29年12月の全国主要子牛市場平均価格は雌740円、雄656円、去勢532円(前月比104%)で全国平均価格は105%、計104%で全国平均では、統伸の取扱いとなりました。

畜産市況

12月

●子牛市場成績表 中央“統伸”の相場展開

地区名	種別	取引頭数	最高価格	最低価格	平均金額	平均体重	キロ単価
雲南部地区	雌	62	1,629,720	267,840	685,399	281	2,441
	去	64	1,060,560	500,040	845,033	290	2,919
	雄	126	1,629,720	267,840	675,180	275	2,453
中央市場	雄	0	0	0	0	0	0
	去	166	1,078,920	410,400	829,759	292	2,842



クロスワードパズル

出題●ニコリ

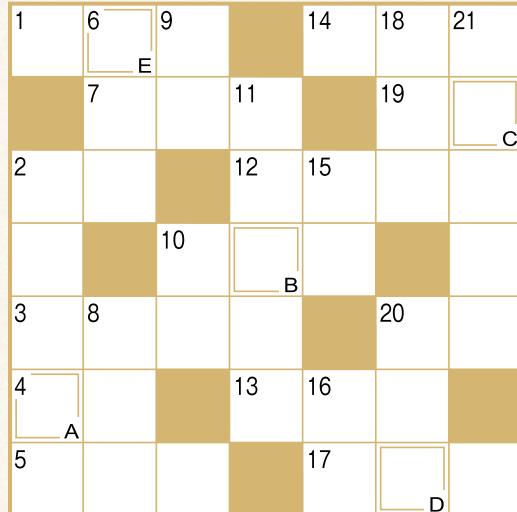
タテのカギ

- ②友人の結婚をみんなで——した
- ⑥魚の下ごしらえの際に取ることも
- ⑧将棋に似た西洋のゲーム
- ⑨五輪で1位の選手がもらうメダルの色
- ⑩温めた豆乳から引き上げます
- ⑪アルバイトの面接を受ける際、書いて持っていくことも
- ⑯ドストエフスキイの著書『——と罰』
- ⑯寒い日にはポツと赤くなる人も
- ⑯ボルトと組み合わせて使います
- ⑯セーフの対義語
- ⑯模試では合格の——が80%だった

ヨコのカギ

- ①2018年の——五輪は平昌で行われます
- ②力士が踏むもの
- ③ツルのものは長く、カモのものは平たい
- ④尺八やフルートはこの仲間
- ⑤医師に処方してもらうものの一つ
- ⑦ずいぶんと——が飛躍しているなあ
- ⑩銀世界を眺めて楽しむこと
- ⑫日本——が寒波に覆われた
- ⑬スマホで明日の天気——を調べた
- ⑭漢字で書くと最中。あんの入った和菓子です
- ⑯桃太郎の場合は犬・猿・キジ
- ⑯鬼の頭に生えています
- ⑯バレンタインの本命チョコに込めます

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



答え A B C D E

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせて頂きます。
- 宛先・締切 〒699-1395 雲南市木次町里方1088-6
JAしまね 雲南地区本部 ふれあい課「クイズ」係
平成30年2月5日（月）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆

「フクブクロ」

ナ	ク	サ	フ	シ
マ	ス	イ	ハ	ン
エ	ト	ド	ン	シ
ホ	シ	ブ	ド	ウ
マ	オ	レ	エ	ミ
ス	ト	リ	ト	ゾ
イ	ロ	キ	ク	レ

お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

けんこうさんぽ
健 康 並 行 歩
JA島根厚生連

正しい手洗い 出来ていますか？

- まだまだ寒い日が続きますが、手洗いをしっかりとやっておきましょう。
- まだまだ手洗いをすることが習慣になつていて、手を洗うときに手を泡立てます。
- 手のひら全体をこすり合わせ、泡を伸ばします。
- 流水で手を洗い、石けんを適量手に取つて両手でよく泡立てます。
- 手のひら全体をこすり合わせ、泡を伸ばします。
- 手の甲をもう片方の手のひらで、こするようにして洗います。
- 両手の指と指を組むようにして、指の間をもみ洗いします。
- 親指をもう片方の手のひらで包み込み、軽く回転させて洗います。
- 指先で、もう片方の手のひらを引っ搔くように動かして洗います。
- 手首を反対の手のひらで軽く握り、回転させて洗います。
- 最後に、清潔なタオルやペーパータオルなどで水分をよく拭き取り、しつかり乾かしましょう。

★★手洗いをするときは、次の手順でしっかりと洗うよにしましょう★

風邪やインフルエンザの予防のために、帰宅時や食事の前など手洗いをすることが習慣になつている方も多いと思いますが、なぜか毎年、風邪やインフルエンザは流行ってしまいますよね。風邪やインフルエンザなど、病気を引き起こす感染症の多くは、"手"を介して体内に侵入することが多いと言われています。洗い残しのないような手洗い、みなさんは出来ていますか？普段、私たちが触れるドアノブや手すりなど様々な場所に、目に見えない細菌やウイルスなどが付着しています。そういう場所を触った手で、自分の眼や鼻、口を触つたりすることで体内に侵入し、それが感染拡大のきっかけとなるのです。様々な感染症から身を守るために、手からの侵入を遮断する「手洗い」がとても大切になります。

得々プラン

やっぱり玉泉

2名様~14名様
限定

1日5組
限定

●表記料金は消費税込・入湯税別途150円かかります。
●お部屋のタイプと、ご夕食会場はホテル側おまかせとなります。

お1人様／1泊2食付 一室3名様～

12,000円 (税込)

お1人様／1泊2食付 一室2名様

14,000円 (税込)

●夕食会場の個室指定は、1名様1,080円(税込)増し
●ご宿泊前日迄お受けいたします

ホテル玉泉利用割引

-JA共済保養施設利用割引- がご利用頂けます。

利用対象／本県JA共済加入者、組合員およびその家族
割引金額／宿泊 2,000円 休憩 1,000円
※一人当たりの利用金額が3,500円以上の場合は適用致しません。

曲水の庭 ホテル玉泉

出雲・玉造温泉
政府登録国際観光旅館(登録第880号)
島根県松江市玉湯町玉造 53-2

TEL.0852-62-0021(代)
http://www.hotel-gyokusen.co.jp

電話 平日 9:00~19:00
受付時間 土日祝 10:00~19:00

さらにもう一品
得々プラン
限定
別注料理

(通常)ズワイ蟹一杯 3,780円
(通常)しまね和牛ステーキ(100g) 3,240円

それぞれ特別価格 1,080円

※事前お申込み専用別注料理でございます。
ご予約時に申し付け下さい。

ズワイ蟹一杯

しまね和牛ステーキ(100g)

お申し込みはお近くの【JAしまね】旅行センターへ

旅行センター本部	0853-25-8907	斐川旅行センター	0853-73-9625
出雲市斐川町直江5030番地		出雲市斐川町莊原2172番地3	
くにびき旅行センター	0852-55-3041	石見銀山旅行センター	0854-82-3501
松江市西川津町1635番地1		大田市長久町長久ハ56番地1	
やすぎ旅行センター	0854-28-6699	島根おおち旅行センター	0855-83-0008
安来市下坂田町1075番地1		邑智郡邑南町下田所277番地	
雲南旅行センター	0854-42-9118	いわみ中央旅行センター	0855-22-8820
雲南市木次町里方1088番地6		浜田市黒川町3741番地	
出雲旅行センター	0853-21-3305	西いわみ旅行センター	0856-22-8587
出雲市今市町87番地		益田市駅前町15番地1	

国民年金の第1号被保険者の皆様へ 国民年金基金に入りませんか!



国民年金基金 とは

老後に受け取れる国民年金(老齢基礎年金)はご夫婦で月に約13万円。しかし、高齢者世帯は、月約27万円かかると言われています。この不足分を補うものとして、サラリーマンなどの人(第2号被保険者)には厚生年金がプラスされますが、自営業などの人(第1号被保険者)はご自身で上乗せしなければいけません。そこで、用意されている公的な個人年金が国民年金基金です。

加入できる人は?

20歳以上60歳未満の国民年金保険料を納付している国民年金の第1号被保険者の方および日本国内に住所を有する60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入している方が加入できます。

年金の給付は?

年金額の加入口数、年金受取期間は給付の型によって決まります。

毎月の掛金は?

掛金は加入時の年齢、性別、選択する給付の型と口数によって決まります。

島根県国民年金基金

000120-654192

〒690-0887 松江市殿町8番地3 島根県市町村振興センター5階 <http://kokuki-shimane.or.jp/>

問い合わせ先

ごまめのマリネ



お正月のごまめアレンジです。ごまめが、子供も大人も好きなマリネになります。沢山の野菜と一緒に食べられるおいしいマリネです。食材はすべてサッと揚げるのがポイントです。

●材料（4人分）

ごまめ	30g	酢	大さじ4
玉葱	1/2個	砂糖	大さじ2
塩	小さじ1/3	塩	小さじ1
きゅうり	1/2本	オリーブ油	大さじ2
さつま芋	小1個		

●作り方

- 玉葱は塩をふって2~3分おき、水に3分ぐらいつけて流水で洗い水気を絞る。
- バットに酢、砂糖、塩、オリーブ油を入れ混ぜて①を入れる。
- さつま芋は細切りにし、水にさらしてアクをとり、ザルにあげ水気をふき取る。
- 油を180℃に熱し、ごまめをさっと素揚げし、さつま芋を素揚げし熱いうちに②に浸けて味をなじませる。
- 千切りきゅうりを混ぜる。

余ってる黒豆の煮物を使い
赤ワインで黒豆のおこわ

お正月に沢山煮た黒豆を使い作るおこわです。甘い煮豆を使うので砂糖は入れません。沢山食べて今年も「まめ」に過ごしたいですよね。

●材料（4~5人分）

煮豆（黒豆）	100g	赤ワイン	大さじ4
もち米	1合	水	赤ワインと合わせて2合
うるち米	1合	塩	小さじ1/3
しめじ	1/4袋		

●作り方

- もち米、うるち米は洗い、ざるにあげて1時間おく。
- ①を炊飯器に入れ、赤ワインと水、塩を入れる。
- 汁気を切った黒豆の甘煮としめじを入れ普通に炊く。



表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通（ののむらなおみち）先生に描いていただいています。

今月の表紙は、雪化粧の松江城。城下町松江のシンボルで、「千鳥城」とも呼ばれています。全国で現存する12天守の一つで、山陰地方で唯一の現存する天守閣であり、平成27年7月に国宝に指定されました。また、城山公園は「日本さくら名所100選」に選ばれており、島根県を代表する観光地の一つとして、全国各地から観光客が訪れています。

組合員・利用者の皆様へ（お詫び）

このたびJAしまねにおいて、臨時職員による給油カードの不正利用がありました。（JA店舗用の給油カードを自分の車のガソリン給油に使用。被害総額65,801円。全額返済済み。）今後、係る事態を引き起こさないために、なお一層の法令遵守（コンプライアンス）の徹底を図ってまいります。農業協同組合としての果たすべき役割と使命を深く認識し、綱紀肅正を図り、信頼回復に向け役職員一丸となり、新たな決意のもと、誠心誠意業務に取り組む所存であります。

平成30年1月
島根県農業協同組合
代表理事組合長 竹下 正幸

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

